



※1キロ粒剤のみ

※1キロ粒剤のみ

※移植のみ

※ジャンボ剤を除く

※ジャンボ剤を除く

水稲用 初・中期一発処理除草剤

アカツキ®

1キロ粒剤 豆つぶ250 ジャンボ フロアブル

米づくりにも、 希望の 光。

ノビエ

クログワイ

ホタルイ



アルテア
(塊茎形成抑制作用)



エフィーダ®
(莖葉白化作用)



フェノキサスルホン®
(ノビエ残効性)

3つの高い除草効果



※商品画像はイメージです。®はクミカ化学工業(株)の登録商標
アルテアは日産化学(株)の登録商標

水稲用 初・中期一発処理除草剤

アカツキ®

1キロ粒剤
豆つぶ250
ジャンボ
フロアブル

- 有効成分：フェノキサスルホン…2.0% (1キロ粒剤)、8.0% (豆つぶ・ジャンボ)、3.8% (フロアブル)
フェンキントリオン…3.0% (1キロ粒剤)、12.0% (豆つぶ・ジャンボ)、5.7% (フロアブル)
メタスルフロロン…1.0% (1キロ粒剤)、4.0% (豆つぶ・ジャンボ)、1.9% (フロアブル)
- 人畜毒性：普通物(再動物に該当しないものを指す)という通称)

特長

- 有効成分「エフィーダ® (一般名：フェンキントリオン)」を配合した3成分の混合剤です。
- エフィーダの作用によりコナギやミズアオイなどの広葉雑草、ホタルイなどのカヤツリグサ科雑草にも高い効果を示します。
- アルテアを配合することにより、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラなど難防除多年生雑草に高い効果を示し、地上部だけでなく地下部も抑制します。
- フェノキサスルホンを配合することによりノビエに優れた除草効果と長期残効性を示します。

適用雑草及び使用方法

2023年9月現在の登録内容

*各有効成分を含む農薬の総使用回数：フェノキサスルホン2回以内、フェンキントリオン2回以内、メタスルフロロン2回以内

1キロ粒剤 (農林水産省登録 第24566号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回*	田植同時散布機で施用
	移植直後～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布			
直播水稲	一年生雑草及びマツバ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			

豆つぶ250 (農林水産省登録 第24567号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び多年生広葉雑草	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	250g	1回*	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草及びマツバ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			湛水散布又は 無人航空機 による散布

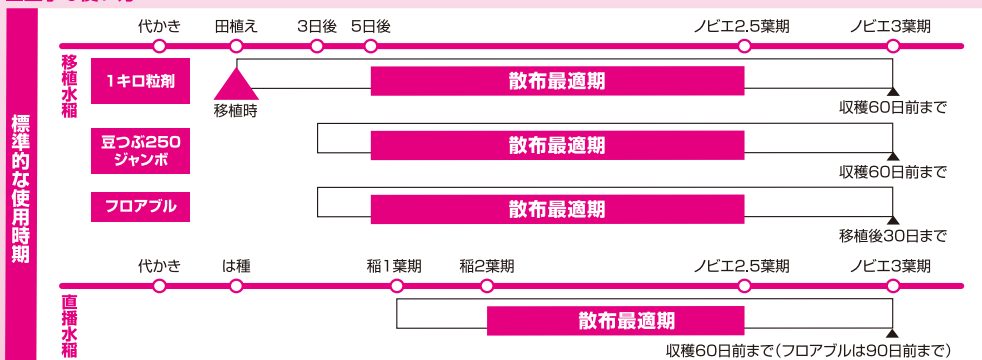
ジャンボ (農林水産省登録 第24568号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び多年生広葉雑草	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	小包装 (パック) 10個 (250g)	1回*	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。
直播水稲	一年生雑草及びマツバ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			

フロアブル (農林水産省登録 第24569号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	500ml	1回*	原液湛水散布
直播水稲	一年生雑草及びマツバ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで			

上手な使い方



【使用上の注意 (抜粋)】

- 【共通】
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期まで、時期を失わないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果がふれが異なるので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ヘラオモダカは3葉期まで、ウリカワは2葉期まで、ミスガヤツリ、クログワイ、コウキヤガラ、ミスバ (豆つぶ250・ジャンボ)は草丈10cmまで、オモダカは矢筈葉1葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離 (1キロ粒剤・フロアブル)は発生前まで本剤の散布適期です。
 - オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、ミスバ (豆つぶ250・ジャンボ)は発生期間が長く、遅い発生のもので十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
 - 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業は、いねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にいねいに行ってください。
 - 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
 - 着霜遅延を生じようとする異常低温の時
 - 砂質土壌の水田および漏水田(湛水深2cm/日以上)
 - 極弱苗を移植した水田
 - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
 - 種穴の戻りの悪い水田
 - 直播水稲に使用する場合は、以下の点に注意してください。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じおそれがあるので使用をさけてください。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後持ちの安定した後に散布してください。
 - 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 散布した水田の田面水を他の作物の湛水に使用しないでください。
 - 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
 - いくさ栽培予定水田では本剤を使用しないでください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 【1キロ粒剤】
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 【1キロ粒剤・豆つぶ250】
- 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
 - 湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 専用の薬剤散布装置によって湛水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて薬剤散布装置の開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください。
 - 水源地、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
- 【豆つぶ250】
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
 - 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田に湛水させ、処理後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があられ出ないよう注意してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 - 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、水田全面に散布してください。
 - 水口に対して向かい風が吹いている場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため水口施用をさけてください。
 - 吸湿性があるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早目に使用してください。
- 【豆つぶ250・ジャンボ】
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
- 【ジャンボ】
- 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
 - 小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均一に投げ入れてください。
 - 藻類・表層はく離、浮き草などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、使用はさけてください。
 - パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 【フロアブル】
- 本剤の使用に当たっては、使用前に容器をよく振ってください。
 - 原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)のまま水田全面にゆきわたるように散布してください。散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
 - 無人航空機で原液湛水散布する際は以下に注意してください。
 - 原液湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 原液湛水散布に当たっては噴霧ノズルは使用しないでください。
 - 作業中、薬剤の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないように風の影響等を十分考慮して原液湛水散布してください。
 - 水源地、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
 - 薬剤散布に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
 - 散布に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
 - 畜に對して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記帳しよう。

本資料は2023年9月現在の知見に基づき作成しています。 2300 (23-9)